

令和8年度

小・中学生フォーラム in 西新宿中学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムの目的は、区の施策の参考に子どもたちの意見を取り入れるとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することとなっています。

7月6日（月）、西新宿中学校（西新宿8丁目2-44、校長：塚本 桂子）の3年A組30名、B組31名、E組7名が、「10年後も住みたい新宿」をテーマに、吉住健一区長と意見交換を行いました。

上記のテーマの下、生徒たちは11のグループに分かれて身の回りのゴミ、遊び場、緑化、駐輪場の問題などについて、提案や想定される懸念点、それらに対する解決策について発表をしてくれました。

生徒たちからは、「公園でボール遊びができるように、使用時間の制限をしてほしい」という意見や、「区内の中学生をごみ拾いのボランティアとして派遣する」などの提案が述べられました。

区長は、生徒たちの提案の実現の可否について、新宿区で現在行っている取組を交えながら回答するとともに、「みんなが楽しんだり、やりがいを見つけながら活動してくれたりすることが、住んでいるまちをより良くするために一番有効だと思う。今日の意見も参考にしながら、これからの区政を運営していきたいと思う。」と話しました。

生徒たちは、全員が発表に参加して、堂々と自分の意見を伝えてくれました。自分たちの意見を直接区長に伝えることができた、有意義なフォーラムになりました。

